TOTO 洗髪器用シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全のため必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

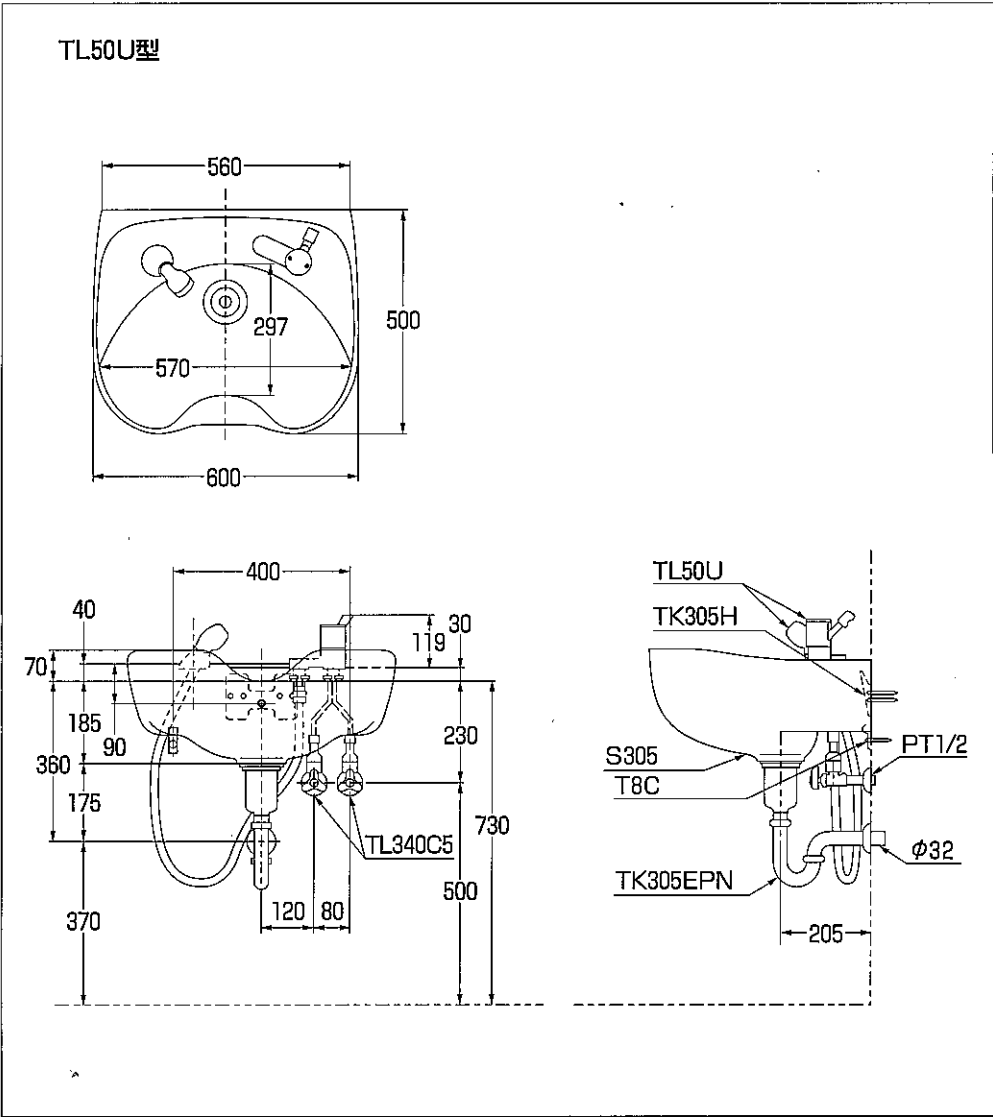
●この説明書では機器を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、⚠注意の表示によってお知らせしています。

⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

⚠注意

(1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

(2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。（寒冷地用）

完　成　図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使　用　条　件

1. 使用水圧
(1)瞬間型給湯機と組合わせる場合

給水圧力 ｛最低必要水圧…（下表参照）
　　　　　最高圧力………0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧（MPa）

給湯機タイプと号数			最低必要水圧
能力手動切替タイプ		12号	A+0.61
比例制御タイプ	TOTO カスタム制御方式	10号	0.12
		16号	0.10
		20号	0.11
	TOTO トリコン制御方式（トリコン・コンタクト・アクティ）	16号	0.09
		20号	
		24号	
		アクティ	0.08
		スーパーアクティ	
		32号	0.09
	TOTO ハイトリコン制御方式	21号	0.08
		24号	
	TOTO コマンド	16号	0.10
		24号	0.09
	TOTO ハイコマンド	21号	0.08
		24号	

〈設定条件〉
- レバーハンドルは全開
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い（25℃）夏期に着火させることを想定。
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- 比例制御タイプの出湯温度：60℃

注）表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
（比例制御タイプにはこの数値が含まれています。）
※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

(2)貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力 ｛最低必要圧力…0.05MPa
　　　　　　　　最高圧力………0.75MPa

(3)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

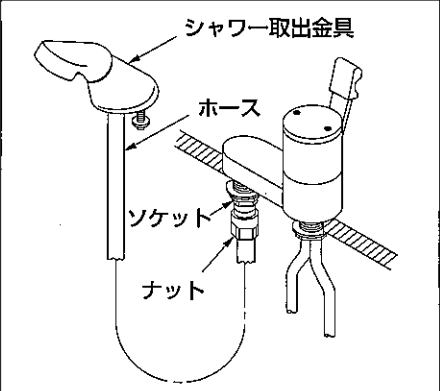
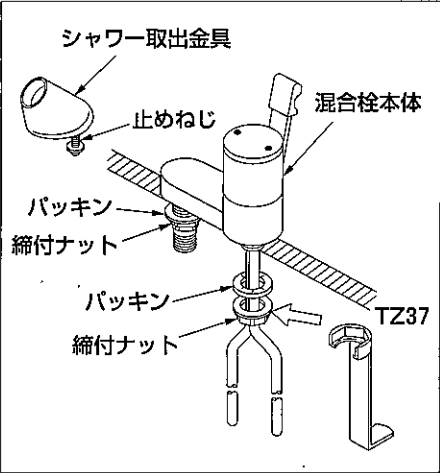
4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

器　具　の　取　付　け

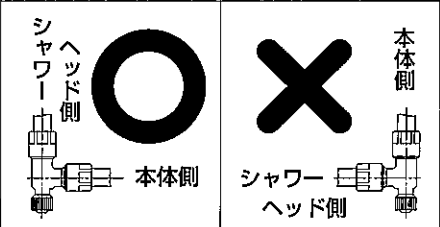
1. 給水管内の清掃
器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

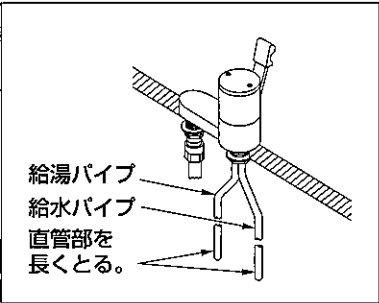
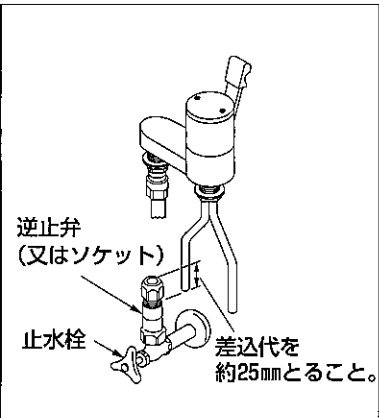
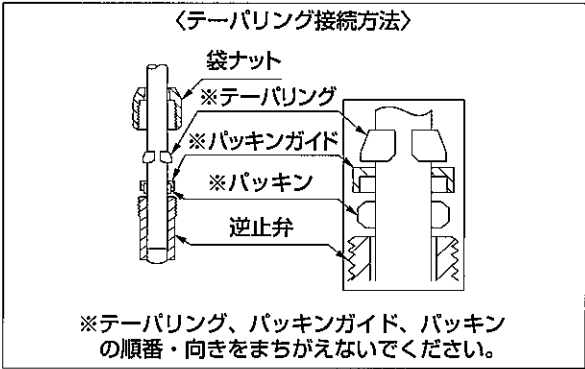
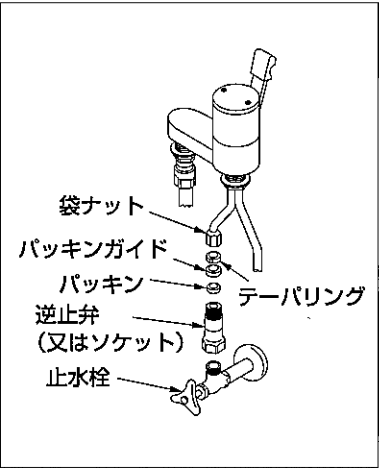
2. 混合栓本体の固定及びシャワー取出金具の取付け
(1)混合栓本体を別売のナット締付工具(TZ37)を利用して確実に固定してください。
(2)シャワー取出金具をねじで洗髪器に止め固定してください。

シャワー取出金具　止めねじ　混合栓本体　パッキン　締付ナット　パッキン　締付ナット　TZ37

3. ホースの取付け
(1)ホースをシャワー取出金具に通してから本体ソケットに接続してください。

(2)寒冷地用の場合は、ホースの水抜コックの取付方向に注意してください。

○ シャワーヘッド側　本体側
× 本体側　シャワーヘッド側

03207E

4. 混合栓と止水栓の接続

(1)混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取出位置に合うように曲げ広げてください。このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

(2)逆止弁（寒冷地用の場合はソケット）を止水栓に仮固定した後、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断してください。このとき、パイプの差込代は約25㎜確保してください。

(3)給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁（又はソケット）を差し込んでください。次に逆止弁（又はソケット）を止水栓にねじ込み、混合栓本体を本固定してください。

(4)最後に給水・給湯パイプを逆止弁に押し付け、袋ナットを手締後1回転以上締め付けてください。

㊟給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きしておいてください。またお客様にも水抜方法をご説明ください。

〈水抜手順〉

(1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げる。

(2)水抜コックを開く。

※水抜き後は必ず水抜コックを強く締めてください。

お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分 解 と 点 検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

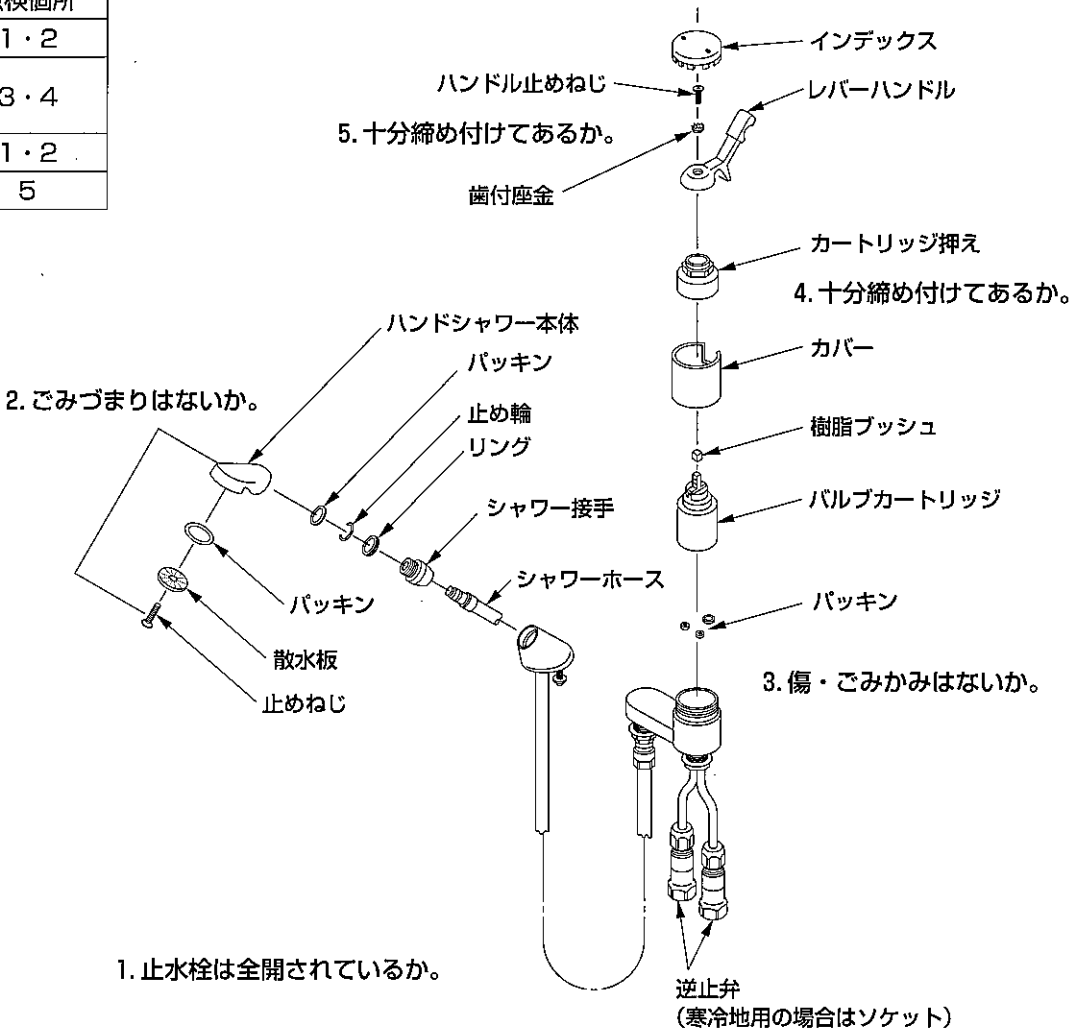
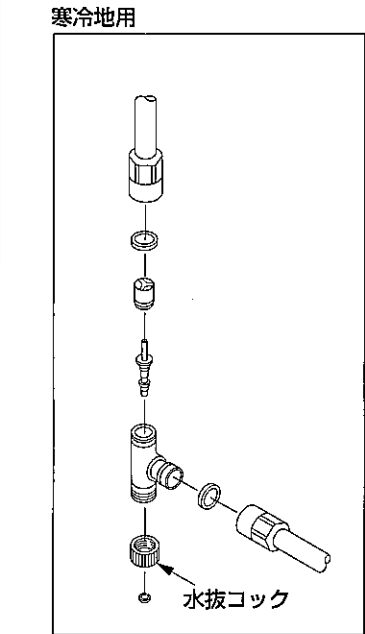
ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現　　象	点検個所
吐水量が少ない	1・2
水が止まらない ハンドル部から水が漏れる	3・4
吐水温度不良	1・2
ハンドルがガタつく	5

インデックス
ハンドル止めねじ
レバーハンドル
5. 十分締め付けてあるか。
歯付座金
カートリッジ押え
4. 十分締め付けてあるか。
カバー
樹脂ブッシュ
バルブカートリッジ
パッキン
3. 傷・ごみかみはないか。
ハンドシャワー本体
パッキン
止め輪
リング
シャワー接手
シャワーホース
2. ごみづまりはないか。
パッキン
散水板
止めねじ
1. 止水栓は全開されているか。
逆止弁
（寒冷地用の場合はソケット）

寒冷地用
水抜コック

別　売
カートリッジ締付専用工具（TZ23）
締付専用工具（TZ33）
締付専用工具（TZ37）

再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。